

## 第6章 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進

### 1 市民、事業者、行政の協働の仕組みづくり

#### (1) ながの環境パートナーシップ会議の運営

ながの環境パートナーシップ会議は、市民・事業者・行政の三者が協働して、環境共生のまちづくりを進めるための組織として、平成13年6月に発足しました。「Think Globally , Act Locally」の理念のもとに『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を推進しています。

##### ①『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』

ながの環境パートナーシップ会議では、アジェンダ21（持続的発展が可能な社会実現のための人類の行動計画）が、地方自治体に対して取組を求めているローカルアジェンダとして、平成15年3月に『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を策定しました。この計画は、長野市環境基本計画の実行計画としての意味も持っており、本市の環境ビジョン、28の具体的な行動計画（プロジェクト）、環境課題の分析、推進体制・進行管理等が記載されています。

平成18年度には、更なる展開のため、重点的に進める行動計画（プロジェクト）の選定、平成22（2010）年度における数値目標の設定、新たな行動計画（プロジェクト）の追加等の見直しを行い、「2007年度版プロジェクト」としてまとめました。

また、現在の社会情勢の変化や新たな環境関連計画等に対応するため、平成23年9月に「新アジェンダ策定プロジェクト」を立ち上げ、今までの取り組みを振り返るとともに、抱えた課題などを整理し、平成25年9月に「アジェンダ21ながのー環境行動計画ー2013」を策定いたしました。

平成28年度は、希少種（淡水魚）保護団体のプロジェクトチームが新たに加わり9のプロジェクトチームが行動計画（プロジェクト）の推進に取り組んだ他、新規事業のプロジェクトサポーター制度に伴う事業者との連携など、新たな協働連携による環境活動を展開しました。

##### ②総会、理事会、プロジェクトチームミーティングの開催

平成28年度は、ながの環境パートナーシップ会議総会において、活動方針、予算等の決定を受け、ながの環境パートナーシップ会議全体の活動を企画・運営する理事会をプロジェクトチームリーダーとの合同会議を含めて13回開催しました。

また、各プロジェクトチームでは、チームミーティングを開催し、「理想の街」の実現に向けて、市民等参加を呼び掛けたイベントや講座などの行動に取り組みました。

##### ③イベント等への参加

「信州環境フェア」の展示ブースで、ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介を行った他、ゴミゼロ運動や特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動等に参加しました。

##### ④プロジェクトサポーター制度

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に当制度を創設しました。なお、4つの各プロジェクトをサポートしていただける事業者が決定しました。

#### ⑤諸団体等と連携

環境保全活動を将来の世代に伝え、共に活動するきっかけとするため「ながの環境活動コンテスト」を開催しました。環境保全活動に取り組んでいる企業・団体・学校の20団体の参加を得て、ブース出展による活動発表と交流を図り、次世代の若者の投票審査により、「環境を良くするためにがんばっているで賞」など表彰を行いました。今後も、定期的を開催し、環境保全活動に取り組んでいる団体との連携の拡大を行います。

ながの環境パートナーシップ会議 推進中の行動計画（プロジェクト）

No.	プロジェクト名	主な目標	主な活動
1	聖山自然復元プロジェクト	大岡聖山パノラマスキー場の跡地を、地域の環境に適合した植生に復元し、伝統的土地利用を考慮しながらCO2吸収源の拡大と、ボランティアによるネットワークを構築する。	大岡聖山の自然を復元するための植生調査を実施するとともに、草原維持ゾーンの進入樹木の伐除した。また、信州大学工学部地域環境演習の受け入れによる環境学習への協力を行った。
2	市民の森づくりプロジェクト	長野市には手入れされた里山と多様な動植物が暮らす豊かな森がある。この里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるようにする。	市民の森（ボブスレー・リ्यूージュパーク内）を定期的に整備し、きのこ駒打体験、かんじき体験会等も開催した。また、趣味の林業講座を全5回で開催した。
3	生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト	清らかな水が流れ、多くの生き物が息づいている街を目指す。	休会中
4	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用され、生ごみの大半がリサイクルされ、可燃ごみが減少しているまちを目指す。	生ごみ削減と堆肥作りとして住民自治協議会との協働により、「堆肥化講座」を実施した。また、キッズ生ごみ農園クラブを創設し、生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫した。
5	レジ袋使用削減プロジェクト	買い物袋（マイバッグ）を持参する意識を定着させ、資源を大切にしている街を目指す。	レジ袋削減のためのキャンペーンを実施した他、「マイバックふえすた」を開催しマイバックをPRした。なお、これらの活動が実りマイバッグ持参率が65.5%になる。
6	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	再生可能エネルギーである太陽光を活用した持続可能で活力ある街を目指す。	ながの環境フェアなどへの出展を通して、太陽エネルギー利用の普及を図った他、先進地視察を行い、チームの自己研鑽を図った。
7	ながのカーボンオフセットプロジェクト	市民・団体・事業者一人ひとりが、生活や活動に伴う環境負荷を自覚し、環境に優しい社会構築への協働を目指す。	事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO2排出権）を提供するための制度設計の検討を継続した。
8	子どもの環境学習支援プロジェクト	子どもの環境への関心を高めるため、環境学習や活動を支援する。	国際ユース環境会議実行委員会に参画し、国際ユース環境会議を開催し、英語によるコミュニケーションを図りながら、テーマである「地産地消」を学んだ。
9	小生物の育成環境保全プロジェクト	身近な自然環境を守り後世に残すために、小生物も生息できる豊かな自然環境の保全を目指す。	住民自治協議会と協働してオオムラサキ繁殖地の計画的な保全活動を行うとともに、環境学習等の一環として観察会を実施した。また、エドヒガン桜を市内に広げるため、苗の接木作業を実施した。
10	ぼんすけ育成プロジェクト	絶滅危惧種であるぼんすけ（シナイモツゴ）をシンボルとして、里山の役割と現状を市街地住民に知ってもらい、里山と市街地の市民が保全目標を共有できる街を目指す。	ぼんすけ達が住むため池の保全活動を他団体等の協働により行った他、チーム独自のホームページを作成し、信里地区のぼんすけ情報を発信した。

## 2 環境教育及び環境学習の推進

地球温暖化などの環境問題に関するさまざまな報道や自治体などのさまざまな主体の取組により、日常生活においても環境問題に対する意識が徐々に芽生え始めています。この芽を育て、環境負荷の少ないライフスタイルを広げるためには、市民一人ひとりの認識・理解を深めることが必要であり、そのためには、学校や家庭・地域・職場などにおいて環境教育・環境学習を総合的に推進することが重要となります。

本市では、教育機関や環境保全団体、ボランティア団体などと協働で、次世代を担う子どもたちへの環境教育を中心にさまざまな事業を実施しました。

### (1) 長野市環境学習会

#### ①自然・水環境の学習会

『大谷地湿原での動植物観察会』や川や水に親しんで河川浄化の意識を高めるため、水生生物調査体験として『夏の川遊び』を実施しました。

また、山の日が制定されたことを記念し、「山の日ウォーキング」も実施しました。

#### ・『大谷地湿原での動植物観察会』

実施日 : 平成28年6月27日(土)  
場 所 : 飯綱 大谷地湿原と森林博物館  
参加者 : 47名  
内 容 : 動植物観察会とモリアオガエルの卵塊数調査

#### ・『川の観察会』 <長野県環境保全研究所共催事業>

実施日 : 平成28年6月18日(土)  
場 所 : 裾花川河川敷  
参加者 : 32名

#### ・『夏の川遊び 1』

実施日 : 平成28年7月30日(土)  
場 所 : 長野市松代町 蛭川・関屋川公園  
参加者 : 51名  
講 師 : 長野県環境保全研究所 北野研究員、戸隠地質化石博物館 古賀専門員  
内 容 : 川の様子調べ、水生生物調査

#### ・『夏の川遊び 2』

実施日 : 平成28年8月5日(金)  
場 所 : 長野市松代町 蛭川・関屋川公園  
参加者 : 44名  
講 師 : 長野県環境保全研究所 北野研究員、戸隠地質化石博物館 古賀専門員  
内 容 : 川の様子調べ、水生生物調査

・『妙高戸隠連山国立公園を探訪 荒倉キャンプ場～紅葉の岩屋へのウォーキング』

実施日 : 平成28年8月11日(木・祝)

場 所 : 荒倉キャンプ場トレッキングコース

参加者 : 104名

講 師 : 鬼女紅葉を偲ぶ会員、市自然環境保全推進委員、戸隠地質化石博物館

内 容 : 鬼女紅葉伝説や国立公園の説明、自然観察会

## ②大気環境の学習会

近年問題とされている「光害」や「大気」について関心を持ち、大気環境の保全意識を高めるため、星空の観察を行いました。

・『<sup>ひかりがい</sup>光害抑制イベント 夜のプラネタリウムと天体観測』

実施日 : 平成28年11月26日(土)

場 所 : 長野市立博物館

参加者 : 106名

講 師 : 長野市立博物館学芸員

内 容 : ①講 義 光害について、プラネタリウム鑑賞

②観 察 星空の観察

## ③地球温暖化防止学習会

「自然エネルギーとソーラーカー」と題し、地球温暖化防止活動推進センターと共催で開催。地球温暖化や自然エネルギーについて学習しました。

・『自然エネルギーとソーラーカー』～光のロマンを求めて～

〈長野市地球温暖化防止活動推進センター共催事業〉

実施日 : 平成28年12月18日(土)

場 所 : 権堂イーストプラザ市民交流センター

参加者 : 72名

講 師 : 長野工業高等専門学校教授、地球温暖化防止活動推進員

内 容 : 講演会 光のロマンを求めて・ソーラーカーを作った学生たち

実験・体験コーナー

## (2) こどもエコクラブの活動支援

こどもエコクラブは、平成7年度に始まり、現在は公益財団法人日本環境協会が主体となり、自治体や関係団体が連携して、子どもたちの学習や活動を支援するクラブです。

### ○長野市におけるこどもエコクラブ登録数の経年変化

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
クラブ数	49	26	15	11	9	6
会員数	914	490	422	324	329	284

## (3) 第21回長野市環境こどもサミット

日頃から環境学習や環境活動に取り組む子どもたちが、その成果を発表したり、意見交換をしたりする機会として、実行委員会の主催で平成8年度から開催しています。平成21年度には、それまでの「長野市環境こども会議」から「長野市環境こどもサミット」に名称を変え、更なる活動の活発化を図りました。

今回のサミットは、「今の地球はどうなっているの？ 知ろう・防ごう地球温暖化 わたしたちにできること」をテーマに、講演会と体験ブース等を通じて、具体的な行動を起こす機会となることを目的に開催しました。

### 第21回 長野市環境こどもサミット

開催日：平成28年10月30日（日）

会場：長野市芸術館 アクトスペース

来場者：約300名

主催：長野市環境こどもサミット実行委員会、環境省長野自然環境事務所  
（長野ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト長野、  
長野県環境保全協会北信支部、ながの環境パートナーシップ会議、長野市、  
長野市教育委員会）

協力：わくわくリーダーズながの、長野市地球温暖化防止活動推進センター、  
NPO 法人フードバンク信州

内容：・講演会 講師：長野市地球温暖化防止活動推進センター 堀池政策部長

・環境標語コンテスト表彰式

・体験ブース

長野市地球温暖化防止活動推進センター

市民の森ながの

NPO法人みどりの市民

環境省長野自然環境事務所

・コンテスト応募作品の展示、クイズラリー ほか

#### (4) 指導者養成事業

環境教育・環境学習の指導者の養成と資質の向上を目的に、学校の教職員を対象とした「環境教育教職員研修講座」を開催しています。

平成27年度事業実施内容

・『教職員研修』 平成24年度から市教育委員会（教育センター）と連携し、教職員が求める環境教育研修を開催しています。 実施日：平成28年5月19日（木） 場 所：清掃センター 参加者：教職員10名 講 師：清掃センター職員、生活環境課職員 内 容：小学校4年生の社会見学で学習する「ごみ」と「下水処理」の教科学習について、市職員の説明を受けることで、教材研究を深めるとともに環境への意識を高める。
・『理科教育教職員研修』 平成28年度から理科教育教職員を対象にした環境教育研修を開催しました。 実施日：平成28年10月21日（金） 場 所：長野市理科教育センター 内 容：触れる地球の紹介と利用方法の解説

#### (5) 環境に関連した書籍等の活用

6月の環境月間にあわせて、子どもたちを中心に多くの方々に環境に関する書籍に触れてもらう機会を設け、環境問題を身近なものと感じて、関心と理解を深めてもらう契機とすることを目的に、小学校、中学校、公民館、図書館、幼稚園、こども広場、読み聞かせグループに「環境関連図書を集めたコーナー」の設置や「環境に関する読み聞かせ」の実施をお願いしています。

○平成28年度実績

報告書を提出いただいた施設の数	101 施設
「環境関連図書コーナー」の設置施設数	93 施設
「環境関連図書コーナー」の設置数	146 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施施設数	79 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施回数	1,070 回